

# 高出地区

日付：令和5年7月14日（金）

場所：高出地区センター

会場：16名 オンライン：15名

出席者：市長 建設事業部長 企画課長 都市計画課長 企画係長 計画係長 企画係2名 デジタル戦略課1名 計画係1名

## グループごとの発言

### ■ グループ①

- ・ 強みは生活のしやすさだと思う。商業施設があり、のるーとに乗れば市内にアクセスでき、地区内に広丘駅がある。
- ・ 弱みは国道の整備が遅れていることが原因で、朝晩渋滞が発生すると生活道路に車が入り込み、市道はどうしても歩道の整備が遅れているので危険箇所がすごく多いなと思っている。
- ・ 災害の危険、特に雨水災害が少ないところは強みではあるが、そういった安心できる反面、地震への備えに対して意識が低いのかなと感じる。
- ・ 地域の課題は地区の役員の担い手がなかなか出てこないという、どこも同じような悩みを抱えているのかなと思う。
- ・ まちづくりの目標については、このまちづくりのためにいろんな関係団体が活動していて、この地区全体で協力し合ってる事業もあるが、そこら辺の協調できる仕組み作りができるようになればいいなと考えている。

### ■ グループ②

- ・ 弱みは、通過交通が非常に多い割に、道路整備が遅れているという点。併せて1区は農村文化の地域だが、空き家が増えてきているということで、都市部でも農村部でも空き家が増えてきているところが非常に不安。
- ・ 強みは、学校が高校、小学校とそれぞれあり子育て環境としては非常に強みのある地域。半面、他に比べれば近いが、住んでる側にすれば駅が遠いと感じる。
- ・ 5区では、資料にもある通り緑地が少なく、災害のときに集まれる場所がない。また、子どもたちが遊ぶ場所がない。歴史の中でも、高出というところは市街化で発展してきたため、緑地が残されてこなかったこともあると思った。
- ・ まちづくりの目標は、子育て世代が住みやすくこれからも長く定住できる手立てを考えることを第一の目標としていただければ。
- ・ 防災という観点では、地震のようなものに対しては、非常にきちんとした計画が立っていると思うが、地域では災害に対する考え方が薄いんじゃないかという懸念がある。

### ■ グループ③

- ・ グループで話していて意見が出て私も聞いてびっくりしたが、待機児童がいるという。それが実際に塩尻市の中で発生していると聞いたので、その対策が必要ではないか。

## 個人の発言

### □ 個人①

- ・ 高出地区は住宅地域で非常に住宅環境はいいが、お店ということで買い物に関しては大型店しか行くところがない。大型店は採算が合わないと即撤退になるため、こういうところも塩尻市全体の課題だと思う。個人店が少ないというのは便利なこともあるかもしれないが、逆に言うと何かあったら困るんじゃないかと思う。